

新年明けましておめでとうございます

組合員の皆様、ご家族の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。日頃から国公連合運動に対するご理解とご協力を頂いている事へのお礼とともに、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。



去年は、地球温暖化の影響とも言える豪雨、台風、地震など自然災害が多発し、日本各地で大きな被害に見舞われました。東日本、熊本など震災からの復興と同時に、被災者・被災地に寄り添った活動が引き続き重要です。また、格差と貧困が拡大する中で、労働・医療をはじめとした各分野での規制緩和が加速しています。人々が安心して働き生活するための良質な公共サービスの確立と公平・公正な社会の実現は急務となっており、その意味でも、公務・公共サービスに携わる労働者・労働組合として社会的役割を発揮し、基本的人権や尊厳ある労働、労働基本権の確立の取組を強化しなければなりません。

我が国の経済は、緩やかな拡大基調にあると言われてますが、多くの国民がその実感を得られず個人消費の伸び悩みが続いています。このよう状況の背景には、実質賃金の減少や年金や医療、介護など将来に対する大きな不安があります。

連合は、「底上げ・底支え」「格差是正」と「すべての労働者に立場に立った働き方」を同時に実現し、「人的投資の促進」「ディーセント・ワークの実現」「包括的な社会の構築」「経済の自立的成長」を目指し2019春期生活闘争に取り組みますが、私たち公務関係労働者においても、職員の雇用と生活を守り社会的に公正な賃金・労働条件、さらには、非常勤職員の均等待遇などの実現に向けた取組が必要です。また、障害者雇用促進法を踏まえた適切な対応と雇用される障害者の皆さんに寄り添った職場環境の整備等も喫緊かつ重要な課題です。

加えて、ハラスメント対策の法制化に向けた国際的な動きにあわせ、連合があらゆるハラスメントの根絶をめざして展開する「STOP!仕事におけるジェンダーに基づいた暴力」キャンペーンの取組にも、積極的に参画していきます。

引き続き、多くの課題が直面していますが、国公連合としての団結を強め組織を強化・拡大し、構成組織の連携を深めるとともに、国公関係労働者の先頭に立って奮闘しましょう。

本年が皆様にとって健やかで実り多い一年であることを祈念し、年頭のご挨拶いたします。

国公関連労働組合連合会(国公連合)

中央執行委員長 柴山 好憲